Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

News Letter to Arts Crew

5月号—No.301
2020.4.25
（毎月1回25日発行）

【虹色】薄いピンク色。

今年は新型コロナウイルスの影響で花見を楽しむこともできなかったが、桜色と同じように紅花だけで染められた薄いピンクを表す日本の伝統色のひとつが「虹色」。紅花には蛍光色素が含まれており、紅染めが一瞬玉虫のように輝くことからこの名称が生まれたとか。ピンク＝虹色とは何とロマンチックなネーミングだろう。

●目次／*contents*

今月のニュース……2
一般財団法人地域創造
令和2（2020）年度 事業紹介・事業スケジュール
令和2（2020）年度 事業計画
令和2（2020）年度 助成決定／助成事業一覧
財団からのお知らせ……9
令和3（2021）年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集／地域創造レター6月号休刊のお知らせ／在宅勤務の実施について／「公共ホール求人情報」「公共ホール研修会／シンポジウム開催情報」掲載お申し込み方法
今月の情報……11
地域通信／オンラインを活用した取り組み
調査研究事業報告……14
2019年度「地域の公立文化施設実態調査」② 速報　設置主体
今月のレポート……16
秋田県秋田市　秋田公立美術大学「NPO法人アーツセンターあきた」

地域創造レター6月号休刊のお知らせ
本誌6月号（5月25日発行予定）は休刊させていただきます（詳細はp.10をご覧ください）。

当財団ホームページを2月25日よりリニューアルしました。求人情報等の掲載申し込み方法についてはp.10をご確認ください。

発行元：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9F
Tel. 03-5573-4183　Fax. 03-5573-4060
URL: https://www.jafra.or.jp/

令和2(2020)年度 地域創造 事業紹介

地方公共団体や公立文化施設の皆様方、地域の芸術文化の担い手の皆様方におかれましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日々変化する状況のなかご対応に尽力されていることと存じます。このようななかですが、3月に決定した一般財団法人地域創造の令和2(2020)年度事業計画をご紹介します(p.3～5参照)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施時期や形態等を変更したものがありますこと、今後も変更の可能性がありますことをご留意の上ご覧ください。

また、下記の「事業スケジュール」には令和2(2020)・3(2021)年度事業のうち、実施予定時期や募集開始予定時期をお示しすることができるものについて整理しました。今後の状況により変更が生じる可能性もございますが、地域創造の各種事業について応募を検討中の地方公共団体等の皆様方にご活用いただければ幸いです。各事業の詳細や最新情報については、本紙および当財団のホームページで告知しますので、併せてご活用ください。

地域の状況が一日も早く平穏に復することをお祈り申し上げるとともに、皆様とともに文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに資する事業を推進できるよう努めてまいります。

●新型コロナウイルス感染症拡大による令和2(2020)年度事業への影響について

参加者および関係者の皆様の健康・安全面を第一に考慮した結果、実施を予定していた下記事業の中止を決定いたしました。

- 令和2(2020)年度市町村長セミナー(市町村アカデミー／4月16日、17日) ※市町村アカデミーとの共催
- 令和2(2020)年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティストプレゼンテーション(ヤマハホール／4月21日)
- 地域創造フェスティバル2020(東京芸術劇場／5月25日、26日)
- 都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議(東京芸術劇場／5月25日)

事業スケジュール ※やむをえず変更になる場合があります。最新情報は地域創造レター、当財団ホームページをご覧ください。

	公共ホール・公立美術館活性化事業／研修交流事業　等	要綱発行・募集
4月	●~~2年度 市町村長セミナー(市町村アカデミー／16日、17日)~~ ⇒ 中止 ●~~2年度 公共ホール音楽活性化事業登録アーティストプレゼンテーション(ヤマハホール／21日)~~ ⇒ 中止	●3年度 公共ホール現代ダンス活性化事業実施団体募集
5月	●~~地域創造フェスティバル2020(東京芸術劇場／25日、26日)~~ ⇒ 中止 ●元・2年度 市町村立美術館活性化事業 第20回共同巡回展　瀬戸蔵ミュージアム・瀬戸市美術館所蔵「瀬戸焼　受け継がれる千年の技と美」開始(全国4カ所／～12月) ●元・2年度 公立美術館共同巡回展開催助成事業「墨は流すもの―丸木位里の宇宙―」展開始(全国3カ所／～12月)	●2年度 地域創造大賞(総務大臣賞)募集
6月	●2年度 リージョナルシアター事業開始(全国5カ所／～11月) ●2年度 地域創造セミナー事業開始(全国4カ所／～2021年2月) ●2年度 公共ホール音楽活性化支援事業開始(全国28カ所／～2021年2月)	●「公立美術館共同巡回展開催助成事業」(3・4年度2か年プログラム、3年度単年度プログラム)募集 ●3・4年度「市町村立美術館活性化事業」参加館募集 ●3年度「公立美術館共同地域交流プログラム助成事業」募集 ●3年度「公立美術館共同巡回展企画支援事業」募集 ●3年度 リージョナルシアター事業実施団体募集
7月	●2年度 公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業開始(全国7カ所／～12月) ●元・2年度 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業開始(長野県／～2月) ●2年度 公共ホール現代ダンス活性化事業開始(全国15カ所／～2021年3月)	●3年度 公共ホール音楽活性化事業実施団体募集 ●3年度 公共ホール音楽活性化支援事業実施団体募集 ●3年度 公共ホール邦楽活性化事業実施団体募集 ●3年度 地域の文化・芸術活動助成事業／地域伝統芸能等保存事業助成団体募集 ●3年度 公共ホール現代ダンス活性化支援事業実施団体募集
8月	●2年度 公共ホール演劇ネットワーク事業開始(全国4カ所／～8月)	
9月	●2年度 公共ホール音楽活性化事業開始(全国14カ所／～2021年2月) ●2年度 公立美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ(全国3カ所／～2021年3月)	
10月	●3年度 公共ホール現代ダンス活性化事業全体研修会(横浜赤レンガ倉庫1号館／5日～7日)※登録アーティスト公開プレゼンテーション(6日) ●2年度 市町村長セミナー(全国市町村国際文化研修所／29日、30日)	●2年度 ステージラボ大分セッション参加者募集 ●3・4年度公立美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ実施館募集 ●3年度 地域創造セミナー実施団体募集
11月	●2年度 公共ホール邦楽活性化モデル事業開始(全国4カ所／～2021年2月)	
12月	●雑誌「地域創造」第46号発行	
1月	●2年度 地域創造大賞(総務大臣賞)表彰式(都内／15日)	
2月	●ステージラボ大分セッション(iichiko総合文化センター／16日～19日) ●第21回「地域伝統芸能まつり」(NHKホール／21日)	

●令和2(2020)年度 一般財団法人地域創造事業計画

1　研修交流事業

地域の文化・芸術環境づくりに取り組む公共ホール・劇場、美術館等の職員及び地方公共団体の職員等を対象とした研修交流事業を実施する。

（1）ステージラボ

地域の公共ホール・劇場の職員及び文化・芸術に携わる地方公共団体の職員を対象に、事業の企画・制作能力等の向上を図るための研修を実施する。

事業名	開催場所等	
ステージラボ		
大分セッション	iichiko総合文化センター	令和3(2021)年2月

※令和元年度：令和元(2019)年6月　富士見セッション／富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
令和2(2020)年2月　いわきセッション／いわき芸術文化交流館アリオス

（2）公立美術館地域展開型研修事業

地域の公立美術館の職員等を対象に、実践的な運営能力の向上及び公立美術館の相互交流の促進を図るため、現場の要望に沿ったオーダーメイドによる出前型研修を実施する。

事業名	開催場所等
美術館出前(オーダーメイド)型ゼミ	塩竈市杉村惇美術館(宮城県塩竈市)
	酒田市美術館(山形県酒田市)
	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(香川県丸亀市)

（3）文化政策セミナー

地域における文化・芸術活動についての理解を深めるため、市町村長等を対象としたセミナーを実施する。

事業名	開催場所等	
市町村長セミナー	市町村職員中央研修所(千葉県千葉市)	令和2(2020)年4月
	全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)	令和2(2020)年10月

（4）都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議

都道府県・政令指定都市の文化行政担当課長等を対象に、文化・芸術振興等についての理解を深めてもらうとともに、地域創造との連携を一層強化するため、当財団の事業説明、意見交換等を実施する。

事業名	開催場所等	
都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議	東京都内	令和2(2020)年5月

（5）地域創造セミナー

文化・芸術事業に関わる職員の知識・能力の向上と芸術文化関係者の広域的な連携強化を図るため、都道府県が主催する地域の公立文化施設の職員や自治体文化政策担当職員が対象の文化芸術に関する研修会に対して講師の派遣等による支援を行う。また、地域創造の事業活用の増進を図るため、各研修会に併せて地域創造の事業説明を実施する。

事業名	開催都道府県	開催場所
地域創造セミナー	北海道	札幌市教育文化会館
	青森県	青森県庁
	山梨県	山梨県庁
	宮崎県	宮崎県立美術館

※令和元年度：モデル事業として3団体実施

（6）リージョナルシアター事業

演劇の手法を活用したワークショップ等の地域交流プログラムの実施に必要な基礎知識の習得、企画能力等の向上を図るため、研修会を実施した後、公共ホールに派遣した演劇の表現者と公共ホールの職員が地域に応じたプログラムを企画・検討し、地方公共団体等との共催により実施する。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
北海道	大空町	大空町教育委員会	大空町内各施設
福島県	いわき市	いわき市	いわき芸術文化交流館アリオス
埼玉県	宮代町	(特非) MCAサポートセンター	宮代町立コミュニティセンター進修館
大阪府	枚方市	枚方市	枚方市内各施設
福岡県	久留米市	久留米市	久留米シティプラザ

※令和元年度：5団体実施

2　公共ホール等活性化支援事業

（1）公共ホール音楽活性化事業

地域においてクラシック音楽を身近なものとするとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高めるため、公演や地域交流プログラムを実施する。

① 導入プログラム(14団体)

クラシック音楽に触れる機会の少ない地域に質の高いコンサート等を提供するとともに、公共ホールの担当者がアウトリーチプログラムの企画・制作に必要な実践的なノウハウを習得することを目的として、市町村等との共催により、研修会、クラシック音楽と身近に触れあうコンサート及び地域交流プログラムを実施する(事業の見直しに伴い、名称を通常プログラムから導入プログラムに変更。また、発展継続プログラムを支援プログラムに統合)。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
北海道	大空町	(一財)大空町青少年育成協会	大空町教育文化会館
岩手県	釜石市	釜石まちづくり(株)	釜石市民ホールTETTO
岩手県	奥州市	公益認可法人前沢商工会	前沢ふれあいセンター
秋田県	大館市	(一財)大館市文教振興事業団	ほくしか鹿鳴ホール(大館市民文化会館)
秋田県	羽後町	羽後町	羽後町文化交流施設　美里音
山形県	長井市	長井市	長井市民文化会館
福島県	会津美里町	会津美里町	会津美里町じげんプラザ
埼玉県	川越市	(公財)川越市施設管理公社	川越南文化会館
千葉県	木更津市	木更津市	木更津市民会館
滋賀県	長浜市	(株)ふるさと夢公社きのもと	木之本スティックホール
和歌山県	日高川町	日高川町	日高川交流センター
広島県	府中市	府中市	府中市文化センター
徳島県	美馬市	あなぶき・TRCグループ	美馬市民ホール
福岡県	中間市	(公財)中間市文化振興財団	なかまハーモニーホール

※令和元年度：通常9団体・発展継続3団体実施

②-1　支援プログラム(28団体)

(助成率：1年目2/3以内、2年目以降1/2以内)

これまでに公共ホール音楽活性化事業の各種プログラムを実施した市町村等がそのノウハウを活用して実施するクラシック音楽と身近に触れあうコンサート及び地域交流プログラムに対して支援を行う(事業の見直しに伴い、従来の支援プログラム、発展継続プログラム、発展継続支援プログラム及び文化庁連携事業(②-2)をひとつに統合し、支援期間を最大5か年とする)。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
＜支援1年目＞(6団体)			
福島県	国見町	国見町教育委員会	国見町観月台文化センター
埼玉県	吉見町	吉見町教育委員会	吉見町民会館(フレサよしみ)
東京都	国立市	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団	くにたち市民芸術小ホール
富山県	入善町	(公財)入善町文化振興財団	入善町民会館(入善コスモホール)
静岡県	菊川市	(株)SBSプロモーション	菊川文化会館アエル
愛知県	田原市	田原市	田原文化会館
＜支援2年目＞(22団体)			
青森県	平川市	平川市	平川市文化センター
岩手県	一戸町	(特非)いちのへ文化・芸術NPO	一戸町コミュニティーセンター(わわわのどぉ～も)
宮城県	蔵王町	蔵王町教育委員会	蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)
東京都	文京区	(公財)文京アカデミー	文京シビックホール
東京都	狛江市	狛江市教育委員会	狛江エコルマホール
石川県	野々市市	(公財)野々市市情報文化振興財団	野々市市文化会館フォルテ
岐阜県	多治見市	(公財)多治見市文化振興事業団	パロー文化ホール
三重県	亀山市	(公財)亀山市地域社会振興会	亀山市文化会館
滋賀県	長浜市	(株)ロハス長浜	浅井文化ホール
滋賀県	米原市	米原市	米原市民交流プラザ(ルッチプラザ)
京都府	舞鶴市	(公財)舞鶴市文化事業団	舞鶴市総合文化会館
大阪府	豊中市	豊中市市民ホール指定管理者	豊中市立文化芸術センター
兵庫県	新温泉町	新温泉町教育委員会	ログハウスカナダ、浜坂北小学校体育館
奈良県	王寺町	王寺町	王寺町文化福祉センター
岡山県	美作市	美作市教育委員会	美作文化センター
山口県	山口市	(特非)こどもステーション山口	クリエイティブ・スペース赤れんが
高知県	高知市	(公財)高知市文化振興事業団	高知市文化プラザかるぽーと
福岡県	久留米市	インガットホール活用実行委員会	久留米市城島総合文化センターインガットホール
福岡県	太宰府市	(公財)太宰府市文化スポーツ振興財団	プラム・カルコア太宰府
佐賀県	佐賀市	(公財)佐賀市文化振興財団	佐賀市立東与賀文化ホール
熊本県	菊陽町	菊陽町教育委員会	菊陽町図書館ホール
大分県	玖珠町	玖珠町教育委員会	くすまちメルサンホール

※令和元年度：1年目3団体、2年目9団体、発展継続支援1団体　計13団体実施

②-2　文化庁連携事業(7団体)(上記①及び②-1の見直しに伴い新規募集は停止)

(助成率：1年目4/5以内、2年目2/3以内、3年目1/2以内、4・5年目1/3以内)

アウトリーチプログラムの実施効果を高めることを目的として、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」の助成を受けて学校で行われる音楽分野のアウトリーチプログラムの後に、地域創造の「公共ホール音楽活性化事業」を経験した公共ホールが行う公演に対して支援を行う。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
＜2年目＞(1団体)			
富山県	滑川市	(一財)滑川市文化・スポーツ振興財団	滑川西地区コミュニティホール
＜3年目＞(3団体)			
岩手県	北上市	(一財)北上市文化創造	北上市文化交流センター　さくらホール
静岡県	川根本町	川根本町	川根本町文化会館
岡山県	和気町	和気町教育委員会	和気町学び館「サエスタ」
＜5年目＞(2団体)			
北海道	深川市	(特非)深川市舞台芸術交流協会	深川市文化交流ホール み・らい
岡山県	勝央町	勝央町	勝央文化ホール
沖縄県	南城市	(株)共立メンテナンス	南城市文化センター　シュガーホール

※令和元年度：1年目1団体、2年目3団体、3年目なし、4年目2団体、5年目2団体　計8団体実施

③　普及啓発プログラム(アウトリーチフォーラム)

都道府県等と連携し、企画・制作担当者を対象としたアウトリーチプログラム普及のための研修、クラシック音楽に身近に触れることのできるコンサート及び地域交流プログラムを組み合わせた市町村公演並びに都道府県が主催する総括公演(ガラコンサート)を実施する。

事業名	実施場所	実施内容
＜令和元・2年度予定　長野県実施／（一財）長野県文化振興事業団＞		
研修プログラムⅡ（全体研修会）	ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）（長野市）	県担当者、参加市町村担当者研修
アウトリーチ研修	キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）（松本市）	県担当者、参加アーティスト研修
市町村公演事業	伊那市、飯山市、茅野市、安曇野市、筑北村、松川村	アウトリーチ実施、コンサート実施 ※アーティスト3組×2地域派遣
総括公演プログラム事業（ガラコンサート）	キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）（松本市）	総括コンサート実施 ※アーティスト3組出演

※平成30・令和元年度：秋田県で実施

（2）公共ホール現代ダンス活性化事業

地域において現代ダンスを身近なものとするとともに、地域の文化事業担当職員の企画・制作能力を高めるため、公演や地域交流プログラムを実施する。

① 通常プログラム（15団体）

現代ダンスに触れる機会の少ない地域にダンス公演等を提供するとともに、公共ホールの担当者がアウトリーチプログラムの企画・制作に必要な実践的なノウハウを習得することを目的として、地方公共団体等との共催により、研修会を実施した後、3つのプログラム（地域交流、市民参加作品創作、公演）のうち、各団体が選択した1つを実施する（最大3年間）。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
＜Aプログラム　地域交流プログラム＞（3団体）			
岐阜県	岐阜市	（一財）岐阜市公共ホール管理財団	岐阜市民会館
大阪府	泉大津市	泉大津市	あすとホール
福岡県	北九州市	（公財）北九州市芸術文化振興財団	北九州芸術劇場
＜Bプログラム　市民参加作品創作プログラム＞（6団体）			
岩手県	宮古市	（特非）いわてアートサポートセンター	宮古市民文化会館
山形県	鶴岡市	鶴岡市	荘銀タクト鶴岡
愛知県	豊橋市	（公財）豊橋文化振興財団	穂の国とよはし芸術劇場PLAT
愛知県	小牧市	（一財）こまき市民文化財団	小牧市市民会館
福岡県	宗像市	（公財）宗像ユリックス	宗像ユリックス
沖縄県	浦添市	ティダ・コミュニケーションズ&リレーションズ	アイム・ユニバース てだこホール
＜Cプログラム　公演プログラム＞（6団体）			
福島県	白河市	（特非）カルチャーネットワーク	白河文化交流館コミネス
石川県	野々市市	（公財）野々市市情報文化振興財団	野々市市情報交流館カメリア
兵庫県	神戸市	（公財）神戸市民文化振興財団	神戸アートビレッジセンター
広島県	三次市	（株）暮らしサポートみよし	三次市民ホール　きりり
高知県	土佐清水市	土佐清水商工会議所	土佐清水市立市民文化会館くろしおホール
熊本県	長洲町	（株）舞台風	ながす未来館

※令和元年度：15団体実施（18団体で実施予定であったが、うち3団体については、新型コロナウルスの感染が拡大している状況を受け中止となった。）

② 支援プログラム（1団体）（助成率：1/2以内）

通常プログラムを実施した地方公共団体等がそのノウハウを活用し、引き続き実施する現代ダンスの公演及び地域交流プログラムに対して支援を行う。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
兵庫県	西宮市	（公財）西宮市文化振興財団	西宮市フレンテホール

※令和元年度：制度見直しに伴う移行期のため実施団体なし。

（3）公共ホール演劇ネットワーク事業（4団体）（助成率：2/3以内）

地域の文化事業担当職員の企画・制作能力の向上を図るとともに、演劇を通した創造性豊かな地域づくりに資するため、地方公共団体等が共同・連携して実施する演劇公演に対して支援を行う。

公演名	マームとジプシー『cocoon』（原作：今日マチ子「cocoon」（秋田書店）　作・演出：藤田貴大）		
都道府県	市町村	実施主体	実施場所
長野県	上田市	上田市	上田市交流文化芸術センター
兵庫県	伊丹市	（公財）いたみ文化・スポーツ財団	伊丹市立演劇ホール
福岡県	北九州市	（公財）北九州市芸術文化振興財団	北九州芸術劇場
沖縄県	那覇市	那覇市	那覇市ぶんかテンブス館

※令和元年度：9団体実施

（4）公共ホール邦楽活性化モデル事業

日本の伝統音楽の継承・発展、公共ホールの職員の企画・制作能力の向上を図るため、公共ホールの担当者、参加演奏家等を対象とした研修プログラム並びに公共ホールを拠点とした邦楽による地域交流プログラム及びホールプログラムを市町村等との共催により実施する。

都道府県	市町村	実施主体	実施場所
埼玉県	秩父市	秩父市	秩父宮記念市民会館
埼玉県	上里町	（一財）上里町文化振興協会	上里町総合文化センター（ワーブ上里）
香川県	高松市	（公財）高松市文化芸術財団	サンポートホール高松
熊本県	熊本市	（一財）熊本市社会教育振興事業団	熊本市民会館シアーズホーム夢ホール

※令和元年度：1団体実施（2団体で実施予定であったが、うち1団体については、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け中止となった。）

（5）公立美術館活性化事業

公立美術館の企画・制作能力の向上、連携の促進、公立美術館の所蔵作品の利活用等を図るため、複数の公立美術館による共同巡回展の実施を支援する。

① 市町村立美術館活性化事業（助成率：準備年度1/1以内、開催年度2/3以内）

地域創造が提示する企画に基づいて複数の市町村立美術館が実施する共同巡回展に対して支援を行うもので、令和2年度は、共同巡回展の開催及び令和3年度開催予定の共同巡回展の準備に対して支援を行う。

＜令和元年度準備・令和2年度開催＞		
展覧会名	第20回共同巡回展 瀬戸蔵ミュージアム・瀬戸市美術館所蔵「瀬戸焼　受け継がれる千年の技と美」	
都道府県	市町村	開催施設
北海道	江別市	江別市セラミックアートセンター
山形県	東根市	東根市公益文化施設まなびあテラス
岐阜県	羽島市	不二竹鼻町屋ギャラリー
三重県	四日市市	四日市市文化会館
＜令和2年度準備・令和3年度開催＞		
展覧会名	第21回共同巡回展 「板橋区立美術館・豊島区所蔵　池袋モンパルナスの仲間たち―全国から集まった画家たちの交差点―」（仮称）	
都道府県	市町村	開催施設
山形県	酒田市	酒田市美術館
茨城県	筑西市	しもだて美術館
愛知県	瀬戸市	瀬戸市美術館

※令和元年度：第19回共同巡回展「見て、感じて、遊ぼう!はんが遊園地―府中市美術館のゆかいな創作版画コレクションより―」展　5館で開催

② 公立美術館共同巡回展開催助成事業（2か年プログラム）（助成率：準備年度・開催年度共に2/3以内）

3館以上の公立美術館が自主的な企画・制作により、所蔵作品等を巡回展示する共同巡回展の準備及び実施に係る経費に対して助成を行う。

＜令和元年度準備・令和2年度開催＞		
展覧会名	「墨は流すもの―丸木位里の宇宙―」	
都道府県	市町村	開催施設
富山県	―	富山県水墨美術館（富山市）
愛知県	一宮市	一宮市三岸節子記念美術館
広島県	三次市	奥田元宋・小由女美術館

※令和元年度：「空間に線を引く―彫刻とデッサン」展　4館で開催

（6）地域の文化・芸術活動助成事業

地方公共団体等が地域において自主的に実施する文化・芸術活動を支援するため、各プログラムの対象事業に対して助成を行う（別紙「助成事業一覧」参照）。

① 創造プログラム（助成率：1/2以内）

地域の活性化に寄与する長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施するうえで他の地域の参考となるような顕著な工夫が認められる事業（一般分）や、都道府県・政令指定都市が自主事業の企画制作能力の更なる向上や周辺地域の公立文化施設に波及効果をもたらすことを目的とした事業を対象とするもの（企画制作力向上特別分）。

② 連携プログラム（助成率：2/3以内）

単独では実施できないが、複数の団体が連携することにより初めて実施できるもので、3以上の地方公共団体等が連携して共同で制作する公演・展覧会のうち、地域交流プログラムを伴うもの。

③ 研修プログラム（助成率：2/3以内）

公立文化施設等の企画・運営に携わる者や地域文化コーディネーター等、地域の文化・芸術活動を担う人材のスキルの向上、ノウハウの習得等を目指し、地方公共団体等が自ら主体的に企画・実施する実践的な人材育成事業。

年度、件数、金額（千円）	令和2年度		令和元年度	
プログラム名	件数	当初決定額	件数	当初決定額
創造プログラム（一般分）	65	281,000	74	308,800
創造プログラム（企画制作力向上特別分）	25	151,900	20	112,700
連携プログラム	38	120,100	29	99,600
研修プログラム	13	15,600	18	20,200
合計	141	568,600	141	541,300

3　情報交流・調査研究等事業

（1）情報交流事業

定期刊行物、ホームページ等により、地域の文化・芸術活動に資する情報提供を行う。

① ニュースレター発行事業

地域創造と各地域の公立文化施設、制作者等の文化・芸術関係者とをつなぐ基本的な媒体として、各地域のユニークな公演・展示の情報や参考となる各地の取組事例、地域創造の事業のお知らせ等を掲載した「地域創造レター」を毎月発行する。

② 雑誌発行事業

文化・芸術環境づくりのケーススタディーや公立文化施設の有効な運営方法を模索する企画記事等を内容とする雑誌「地域創造」を年1回発行する。

③ 各種情報提供

ホームページやフェイスブックの運営を通じ、地域創造及び公立文化施設に関する各種情報や、定期刊行物に掲載した地域の文化・芸術に関する情報等を蓄積し、提供を行う。

（2）調査研究事業

地域の文化・芸術環境づくりについて全国的な視点から調査、分析、研究を行い、それらの成果を積極的に活用して、関係者からの相談等に応じる。

（3）コンサルティング事業

地方公共団体からの文化・芸術の振興による地域づくりに関する相談等に応じる。

（4）表彰事業

地域における文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりに特に功績のあった公立文化施設に対し、「地域創造大賞（総務大臣賞）」を授与し、表彰する。

【参考】令和元年度受賞団体（7施設）

受賞施設	設置団体
宮古市民文化会館	岩手県宮古市
萬鉄五郎記念美術館	岩手県花巻市
塩竈市杉村惇美術館	宮城県塩竈市
神奈川県立近代美術館	神奈川県
上田市交流文化芸術センター	長野県上田市
大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）	大阪府
アルカスSASEBO	長崎県及び佐世保市

4　地域伝統芸能等保存事業

（1）フェスティバル事業

① 全国フェスティバル事業

地域伝統芸能等の保存・継承に関する国民的機運の盛り上げを図るため、「地域伝統芸能まつり」を開催するとともに、YouTube公式チャンネルでダイジェスト及び各演目の動画を配信する。

実施時期	開催場所	テーマ	出演者
令和3年2月	NHKホール	検討中	7団体程度＋1古典芸能実施（狂言等）

※令和2年2月23日（日）に開催を予定していた令和元年度の「地域伝統芸能まつり」については、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を受け中止とした。

② 地方フェスティバル事業（助成率：1/2以内）

地域固有の伝統芸能等を保存・継承するための公演事業を行う地方公共団体等に対して助成を行う。

No.	都道府県	事業実施者	事業名	当初決定額（千円）
1	秋田県	あきた民謡祭実行委員会	あきた民謡祭＋	2,000
2	秋田県	鹿角市	鹿角市民俗芸能フェスティバル	281
3	埼玉県	越谷市	第37回越谷市郷土芸能祭	111
4	千葉県	我孫子市	郷土芸能祭	351
5	千葉県	東金市	まい・舞・はやしフェスタ'20（仮）	85
6	東京都	（公財）とします未来文化財団	民俗芸能inとしま	500
7	神奈川県	かながわ伝統芸能祭実行委員会	かながわ伝統芸能祭「かながわ伝統文化こども歳時記」	2,000
8	山梨県	山梨県	地域伝統芸能でひもとく「水の国やまなし」（仮称）	1,732
9	京都府	（公財）京都市音楽芸術文化振興財団	KYOTO伝統芸能フェスティバル2020（仮称）	500
10	兵庫県	葛畑農村歌舞伎伝承会	第18回せきのみや子ども歌舞伎公演事業	500
11	鳥取県	鳥取県	第11回とっとり伝統芸能まつり	2,000
12	島根県	出雲市無形文化財連絡協議会	第55回出雲市無形文化財発表会	128
13	広島県	RCC文化センター・イズミテクノホールマネジメントグループ共同企業体	2020「広島神楽」定期公演	2,000
合計				12,188

※令和元年度当初決定額：9団体 10,180千円

（2）映像記録保存事業

① 地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業

映像記録保存事業により作成された映像等をデジタルコンテンツ化し、インターネットで発信する「地域文化資産ポータルサイト」を運営する。

令和2年度追加予定コンテンツ

No.	都道府県	市町村	コンテンツ
1	茨城県	常陸大宮市	鷲子山上神社夏季例大祭（祇園祭）
2	栃木県	茂木町	北高岡の獅子舞
3	愛知県	豊田市	御田扇祭り
4	長崎県	新上五島町	新上五島町内民俗芸能
5	宮崎県	門川町	伝統芸能映像記録保存事業
6	沖縄県	南城市	神話の里-南城市の聖地-
7	沖縄県	恩納村	瀬良垣の豊年祭
8	沖縄県	読谷村	長浜棒

※令和元年度までの掲載コンテンツ数：549件

② 映像記録保存事業（助成率：2/3以内）

各地域で失われつつあり、これまで記録に残されてこなかった地域固有の伝統芸能等をデジタルビデオ映像に記録・保存する市区町村に対して助成を行う。

No.	都道府県	市町村	事業名	当初決定額（千円）
1	青森県	南部町	剣吉諏訪神社の祭礼行事と山車踊り	1,912
2	山形県	鶴岡市	六所神社獅子舞	1,318
3	福島県	郡山市	柳橋の歌舞伎	1,760
4	福島県	二本松市	田沢の獅子舞	2,000
5	茨城県	常陸太田市	西金砂神社小祭礼	2,000
6	茨城県	石岡市	柿岡の祇園祭り	2,000
7	埼玉県	東秩父村	萩平の獅子舞	2,000
8	兵庫県	宝塚市	西谷ちまき	366
9	鹿児島県	徳之島町	井之川夏目踊り	1,600
合計				14,956

※令和元年度当初決定額：9団体 12,411千円

（3）保存・継承活動支援事業（助成率：1/2以内）

地域固有の伝統芸能等の保存・継承のために活動している団体等へ支援を行う市区町村に対して助成を行う。

No.	都道府県	申請者	当初決定額（千円）	No.	都道府県	申請者	当初決定額（千円）
1	北海道	更別村	300	15	神奈川県	三浦市	31
2	宮城県	気仙沼市	149	16	新潟県	上越市	289
3	山形県	鶴岡市	300	17	富山県	富山市	300
4	山形県	天童市	150	18	福井県	福井市	240
5	栃木県	那須町	202	19	静岡県	伊豆の国市	200
6	埼玉県	川越市	300	20	愛知県	刈谷市	300
7	千葉県	東金市	150	21	愛知県	犬山市	300
8	東京都	昭島市	90	22	三重県	伊勢市	300
9	東京都	国立市	70	23	大阪府	河南町	300
10	東京都	羽村市	58	24	奈良県	天理市	117
11	神奈川県	川崎市	300	25	福岡県	福津市	135
12	神奈川県	厚木市	258	26	福岡県	久留米市	300
13	神奈川県	海老名市	100	27	熊本県	宇城市	300
14	神奈川県	松田町	300	合計			5,839

※令和元年度当初決定額：19団体 4,299千円

令和2（2020）年度 地域創造メンバー ※4桁の数字は、03-5573に続く番号です

●会長
遠藤安彦（えんどう・やすひこ）　4050
●理事長
板倉敏和（いたくら・としかず）　4050
●常務理事
髙尾和彦（たかお・かずひこ）　4050
●監事
鹿村謙太郎（しかむら・けんたろう）　4050
●事務局長
羽生雄一郎（はにゅう・ゆういちろう）4061
●総務部
◎総務部長
深沢裕治（ふかさわ・ゆうじ）　4051
◎総務課長
柴田敦司（しばた・あつし）　4052

◎総務課
内山正雄（うちやま・まさお）　4173
大堀洋子（おおほり・ようこ）　4050
岩﨑百代（いわさき・ももよ）　4065
長谷川美奈子（はせがわ・みなこ）　4058
佐々木悦子（ささき・えつこ）　4072
長瀬貴司（ながせ・たかし）　4054
◎助成担当
渡辺祐人（わたなべ・ゆうと）　4164
◎表彰担当
三田真由美（みた・まゆみ）　4184
◎伝統芸能担当
山本磨莉（やまもと・まり）　4056
◎美術担当
高野英江（たかの・はなえ）　4143
三田真由美（みた・まゆみ）　4184

●芸術環境部
◎芸術環境部長（事務局長事務取扱）
◎企画課長
中西　享（なかにし・すすむ）　4063
◎人材育成・調査研究・情報発信担当
吉川剛史（よしかわ・つよし）　4068
児島美穂（こじま・みほ）　4183
﨑山碧乃（さきやま・あおの）　4066
◎音楽・邦楽担当
佐藤良子（さとう・よしこ）　4064
山之内宏彰（やまのうち・ひろあき）4078
菅　亮太（すが・りょうた）　4069
穎川裕子（えがわ・ゆうこ）　4185
永田美幸（ながた・みゆき）　4076

◎ダンス担当
■栗林礼也（くりばやし・ゆきや）　4055
青井拓也（あおい・たくや）　4077
畑　萌葉（はた・もえは）　4075
◎演劇担当
藤原加奈（ふじわら・かな）　4124
宮下　翠（みやした・みどり）　4079
◎プロデューサー
津村　卓（つむら・たかし）　4062
児玉　真（こだま・しん）　4168

■…ディレクター

令和2（2020）年度

地域創造助成決定

＊「地域の文化・芸術活動助成事業」一覧については建制順に掲載（事業名、申請団体、実施予定時期）。助成決定額については当財団ホームページに掲載しています。下記より、「令和2年度事業計画」をご参照ください。
https://www.jafra.or.jp/about/report.html

＊「地域伝統芸能等保存事業」一覧については「令和2（2020）年度事業計画」（p.5）を参照。

＊新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となる場合や、開催日程等が一部変更となる場合がございます。

●「地域の文化・芸術活動助成事業」に関する問い合わせ
総務部　渡辺
Tel. 03-5573-4164
E-mail：josei@jafra.or.jp

●「地域伝統芸能等保存事業」に関する問い合わせ
総務部　山本
Tel. 03-5573-4056
E-mail：dento@jafra.or.jp

●令和2（2020）年度「地域の文化・芸術活動助成事業」「地域伝統芸能等保存事業」採択事業決定

令和2（2020）年度は、「地域の文化・芸術活動助成事業」、「地域伝統芸能等保存事業」の2つの助成事業について2019年7月下旬から9月30日にかけて募集を行い、審査の結果190件の採択を決定。2020年4月1日付けで各団体へ助成決定通知を送付しました。

◎地域の文化・芸術活動助成事業

創造プログラム（一般分）75件、創造プログラム（企画制作力向上特別分）31件、連携プログラム38件、研修プログラム14件の計158件の申請があり、自主性、新規性、発展性、地域交流プログラムの実施など、各プログラムの事業要件をすべて満たしているかどうか審査した結果、141件を採択しました。

◎地域伝統芸能等保存事業

地方フェスティバル事業14件、映像記録保存事業9件、保存・継承活動支援事業27件の計50件の申請があり、地域固有の伝統芸能の保存・継承活動につながる事業かどうかなどについて審査をした結果、49件を採択しました。

地域の文化・芸術活動助成事業 141件

創造プログラム（一般分） 65件

【1年目】

●**札幌芸術の森ユースジャムセッション**
（公財）札幌市芸術文化財団／2020年4月～2021年3月

●**未来のためのミュージック・ギフト with 宮川彬良×ぱんだウィンドオーケストラ**
（公財）盛岡市文化振興事業団（岩手県）／2020年6月

●**足利市政100周年記念市民参加型ミュージカル公演「あしかがものがたり」**
（公財）足利市みどりと文化・スポーツ財団（栃木県）／2020年11月

●**令和2年度 吉祥寺ファミリーシアタープロジェクト**
（公財）武蔵野文化事業団（東京都武蔵野市）／2020年5月

●**せんがわ・ドラマ・プロジェクト**
（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団（東京都）／2020年7月～9月

●**「パルたま★シアターエデュケーション」プロジェクト**
（公財）多摩市文化振興財団（東京都）／2020年9月～2021年2月

●**地域で光る文化芸術拠点の魅力・発信事業 ～工芸魅力発信プログラム～**
富山県／2020年6月

●**2020いしかわミュージックアカデミー**
石川県／2020年8月

●**子どもたちに贈るアウトリーチコンテンツの創造　朗読劇・音楽劇『明日を信じて』**
山梨県／2021年1月～2月

●**活弁ライブ「キネマと音楽の昼下がり in 大垣」**
（公財）大垣市文化事業団（岐阜県）／2020年5月～8月

●**Read Arts**
静岡県藤枝市／2021年2月

●**子どもアートピア～地元アーティストがおくる子どものための文化フェス～**
（公財）名古屋市文化振興事業団／2020年12月

●**とよはし舞台芸術創造発信事業**
（公財）豊橋文化振興財団（愛知県豊橋市）／2021年3月

●**トップレベルの市民アーティスト育成事業**
愛知県東海市／2020年8月、9月、12月、2021年3月

●**知立の山車文楽新作プロジェクト**
（一財）ちりゅう芸術創造協会（愛知県知立市）／2020年8月

●**美術館発信の文化芸術と地域社会との協同による地域づくり**
（公財）京都文化財団（京都府）／通年

●**Intergenerational Thinking ―世代間の対話**
京都市／2020年10月～11月

●**地域に根差した創造活動におけるコアメンバー発掘と育成による環境整備に向けて（仮）**
大阪市／2021年2月～3月

●**神戸発信のための実験的音楽事業「ウィーンの情熱」**
神戸市／2020年5月

●**オーケストラの世界へようこそ！**
兵庫県姫路市／2021年3月

●**福岡市民芸術祭メイン事業「劇的美術館！絵の世界を旅しよう（仮）」**
（公財）福岡市文化芸術振興財団／2020年10月～12月

●**おおいた西洋音楽発祥の地プロジェクト**
（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団／2020年6月、10月～12月

●**豊後FUNAIミュージカル**
大分県大分市／2020年7月～2021年3月

▼— 今月のニュース

地域創造からのニュースを毎月掲載します

●竹田版「マダム・バタフライ」3か年計画
大分県竹田市／2020年8月、12月～2021年3月
【2年目】
●ナラティブの修復
(公財)仙台市市民文化事業団／2020年11月～2021年1月
●須川展也プロデュースプロジェクト トルヴェール・クヮルテットリサイタル&マスタークラス
(公財)名取市文化振興財団(宮城県)／2020年12月
●酒田市音楽のまちプロジェクト
山形県酒田市／2020年6月～8月
●住民参加型タップダンス公演第5弾
(公財)会津若松文化振興財団(福島県会津若松市)／2021年3月
●住民参加型　とりで・市民ミュージカル公演
(公財)取手市文化事業団(茨城県)／2021年3月
●地域コミュニティ活性化事業 ことばで紡ぐ演劇広場
(公財)さいたま市文化振興事業団／2021年2月
●区民参加事業　音楽劇ワークショップ～ぶんきょう演戯塾～
(公財)文京アカデミー(東京都文京区)／2021年1月
●東日本復興支援コンサート及び関連イベント
(公財)目黒区芸術文化振興財団(東京都)／2021年3月
●TOKYO OTA OPERA PROJECT
(公財)大田区文化振興協会(東京都)／通年
●インプリントまちだ展2020
東京都町田市／2020年4月～6月
●高齢者のための「初めて」映像制作ワークショップ
東京都小金井市／2021年3月
●KAATキッズ・プログラム「二分間の冒険」
(公財)神奈川芸術文化財団(神奈川県)／2020年7月
●藤沢市民オペラ2018-2020シーズン　市民オペラ「ナブッコ」
(公財)藤沢市みらい創造財団(神奈川県)／2020年11月
●越後妻有　アジア文化プラットフォーム
新潟県十日町市／2020年7月～2021年3月
●第2回　上越市民演劇祭
新潟県上越市／2021年3月
●音楽の贈りもの
(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団(山梨県笛吹市)／2020年9月、10月
●アーティスト・イン・レジデンス「芸術家ふれあい事業」＆リサイタル
長野県上田市／2020年5月～2021年3月
●過去から未来へつなぐ文化芸術のまち伊那市事業
長野県伊那市／2020年10月
●海津市市民創作ミュージカル『ハリヨと生きる』―水面に煌めく命の唄―
岐阜県海津市／2020年11月
●刈谷からの文化発信創作事業
愛知県刈谷市／2021年2月
●舞台芸術人材育成活用・創造事業　とよた演劇ファクトリー
(公財)豊田市文化振興財団(愛知県)／2021年2月
●四日市実演芸術活性化事業
(公財)四日市市文化まちづくり財団(三重県)／2020年8月～2021年2月
●チャイルドクラシックプログラム―おなかのなかから小学生になるまで―
(公財)伊賀市文化都市協会(三重県)／通年
●もっと身近に“日本”オペラ
(公財)びわ湖芸術文化財団(滋賀県)／2020年11月
●かめおか霧の芸術祭
京都府亀岡市／2020年11月～12月
●こどもクラシックの日 2021
大阪府豊中市／2021年3月
●市民演劇創造　研究プログラム「おとなのための演劇学校Ⅱ」
兵庫県豊岡市／2020年9月～10月
●しまね伝統芸能祭
(公財)しまね文化振興財団(島根県)／2020年9月～11月
●木のアートプロジェクト2020～アート de 地域活性化～
(公財)浜田市教育文化振興事業団(島根県)／2020年10月～2021年1月
●(仮称)令和2年度観音寺市民会館活用促進事業「こどもミュージカル」
香川県観音寺市／2021年3月
●内子町文化創造事業　茂山狂言
愛媛県内子町／2020年4月～12月
●現代地方譚　アーティストインレジデンス須崎
高知県須崎市／2021年1月～2月
●筑後コンテンポラリーダンス推進事業
福岡県／2020年9月
●わくわく・ドキドキ♡オーケストラ体験!!
(公財)宗像ユリックス(福岡県宗像市)／2020年7月、2021年2月
●ブリックホール開館20周年から始まる市民参加舞台(仮称)
長崎県長崎市／2020年12月
【3年目】
●～平成家族物語～舞台芸術によるまちづくりプロジェクト第3弾『東松山戯曲賞』優秀作品の音楽劇公演
(公財)東松山文化まちづくり公社(埼玉県東松山市)／通年
●Music Program TOKYO Workshop Workshop！ 2020 on stage & legacy
東京都／通年
●杉劇アート de 伝承プロジェクト
(公財)横浜市芸術文化振興財団／2020年5月～2021年3月
●児童・青少年のための舞台芸術フェスティバル〈キッズ・サーキット in 佐久〉
長野県佐久市／2020年7月～8月
●亀山ミュージカル　舞台人育成事業
(公財)亀山市地域社会振興会(三重県)／2020年5月～11月
●～文化の力で心豊かに～地域復興事業
熊本市／2021年2月

創造プログラム(企画制作力向上特別分)　25件

●札幌国際芸術祭2020
札幌市／2020年12月～2021年2月
●さいたまゴールド・シアター第8回公演
(公財)埼玉県芸術文化振興財団／2021年2月
●北総四都市文化紀行　ちば魅力発見コンサート in 東総～北総の文化をつなぐ～
(公財)千葉県文化振興財団／2020年7月
●千葉市民創作ミュージカル2020
(公財)千葉市文化振興財団／2020年4月～6月
●「(仮)高橋士郎・古事記」展
川崎市／2020年8月～10月
●オリパラ企画「ホップ、ステップ、ジャンプ」特別支援学校コンサート
(公財)石川県音楽文化振興事業団／2020年5月～6月
●音楽の街ふくい創出事業
福井県／2020年5月、11月
●やまなし県民文化祭総合フェスティバル
山梨県／2021年2月
●サラマンカホールオペラプロジェクト「不思議の国のアリス」
岐阜県／2020年12月
●静岡県文化プログラム SPAC『忠臣蔵2020』
(公財)静岡県舞台芸術センター／2020年8月
●静岡市美術館開館10周年記念「生誕110年・没後30年　―

絵本作家への一本道— 赤羽末吉展(仮称)」
(公財)静岡市文化振興財団/2020年10月～11月
●**あいちアートプログラム(仮称)**
愛知県/2021年2月
●**やっとかめ文化祭～芸どころ・旅どころ・なごや～**
名古屋市/2020年11月
●**滋賀県次世代育成ユースシアター事業(上演作品未定)**
(公財)びわ湖芸術文化財団(滋賀県)/2020年12月
●**府域縦断ミュージアム・トレーラー事業**
京都府/2020年9月～
●**ベートーヴェンの知らない世界(仮称)**
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団/2020年10月、11月
●**大阪クラシック**
大阪市/2020年9月
●**横尾忠則 Yの喜劇**
(公財)兵庫県芸術文化協会/2020年9月～12月
●**「広島ジュニアウインドオーケストラ」**
広島市/2020年7月
●**開園30周年記念「ドイツ 20世紀 アート」—人・対話・みらい— ～フロイデ! ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会～**
徳島県/2020年10月～12月
●**令和2年度特別展「さぬき武士ものがたり(仮)」**
香川県/2020年8月～9月
●**没後20周年記念 真鍋博展2020**
愛媛県/2020年9月～10月
●**カンパニーデラシネラ 古典名作劇場第三弾「アンデルセン原作 はだかの王様より(仮)」**
(公財)高知県文化財団/2021年3月
●**佐賀県立博物館50周年記念展「This is SAGA」(仮称)**
佐賀県/2020年7月～9月
●**「LIFE ライフ — 生きることは、表現すること」展(仮)**
(公財)熊本市美術文化振興財団/2020年4月～6月

連携プログラム 38件
●**「岬のマヨイガ」公演事業**
岩手県宮古市(2021年2月)/岩手県二戸市(2021年2月)/岩手県久慈市(2021年2月)
●**Meets Art Performance"アート&音楽" Teatro all' improvviso「三本の手のスケルツォ」**
(一財)北上市文化創造(岩手県)(2021年1月)/釜石まちづくり株式会社(岩手県釜石市)(2021年1月)/埼玉県秩父市(2021年1月)
●**鼓童×ロベール・ルパージュ「NOVA」**
山形県(2020年7月)/(公財)厚木市文化振興財団(神奈川県)(2020年9月)/(公財)堺市文化振興財団(2020年9月)/(公財)熊本県立劇場(2020年6月)
●**劇場連携による共同招聘企画 フランソワ・シェニョー&ニノ・レーネ『不確かなロマンス—もう一人のオーランド—』日本ツアー公演**
(公財)埼玉県芸術文化振興財団(2020年12月)/(公財)京都市音楽芸術文化振興財団(2020年12月)/(公財)北九州市芸術文化振興財団(2020年12月)
●**真夏の夜の夢**
東京都(2020年10月～11月)/(公財)新潟市芸術文化振興財団(2020年11月)/(一財)松本市芸術文化振興財団(長野県)(2020年11月)/(公財)兵庫県芸術文化協会(2020年11月)
●**フォルモサ・サーカス・アート『悟空～Before the Journey to the West～』(原題)**
(公財)せたがや文化財団(東京都世田谷区)(2020年8月)/(公財)名古屋市文化振興事業団(2020年8月)/(公財)福岡市文化芸術振興財団(2020年7月)
●**日本舞踊家集団「弧の会」公演**
新潟県魚沼市(2021年3月)/(公財)鳥取県文化振興財団(2021年2月)/(公財)徳島県文化振興財団(2020年5月)
●**伝統芸能&オペラ「おしち」**
(公財)射水市文化振興財団(富山県)(2020年8月)/(公財)石川県音楽文化振興事業団(2020年8月)/(公財)四日市市文化まちづくり財団(三重県)(2020年8月)
●**世界の児童文学による地域交流事業『不思議の国のアリスと僕(仮)』**
岐阜県関市(2020年8月)/愛知県豊川市(2020年8月)/愛知県西尾市(2020年8月)/愛知県長久手市(2020年8月)
●**信楽焼 —〈わび・さび〉の美の秘密とヒストリー**
(公財)滋賀県陶芸の森(2020年10月～12月)/滋賀県甲賀市(2020年9月～11月)/滋賀県多賀町(2020年9月～11月)
●**アンブロジオ聖歌と声明による祈りの音楽**
山口県(2020年11月)/(公財)アクロス福岡(福岡県)(2020年11月)/(公財)筑後市文化振興公社(福岡県)(2020年11月)/大分県竹田市(2020年11月)
【連絡調整事業】
●**機能と装飾・モダニズムとモダニティ(仮称)**
島根県

研修プログラム 13件
●**Technical Theatre Training Program 2020 舞台技術講座**
(公財)せたがや文化財団(東京都世田谷区)/2020年5月、2021年1月
●**あうるすぽっと 舞台芸術の担い手の育成事業2020**
(公財)としま未来文化財団(東京都豊島区)/2020年5月～2021年3月
●**「クリエイティブな情報保障の取り組み方とは?(仮)」**
(公財)神奈川芸術文化財団(神奈川県)/2020年5月～2021年3月
●**茅野市民館をサポートしませんか2020 「みんなでステージをつくってみよう(仮)」**
長野県茅野市/2020年4月～11月
●**劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2020」**
(公財)可児市文化芸術振興財団(岐阜県)/2020年10月、2021年1月
●**ふじのくに文化情報フォーラム2020個別テーマ実践プログラム**
(公財)静岡県文化財団/2020年6月～8月、2021年2月～3月
●**静岡県公立ホール連携支援研修～各館連携と地域の文化振興～**
(公財)静岡県文化財団/2020年6月～7月、9月～2021年3月
●**愛知県芸術劇場 舞台芸術人材養成ラボ2020**
(公財)愛知県文化振興事業団/2020年5月～2021年3月
●**びわ湖ホール舞台技術研修～人材育成講座～**
(公財)びわ湖芸術文化財団(滋賀県)/2020年5月～2021年3月
●**京都府地域文化創造事業**
京都府/2020年9月、10月
●**新しい美術館を拠点とする「アートプラットフォーム形成」事業**
地方独立行政法人大阪市博物館機構/2020年11月～2021年3月
●**プロに学ぶ!舞台技術入門講座**
兵庫県豊岡市/2020年7月
●**舞台専門人材育成事業「ステージテクニカルアカデミー2020」**
(公財)しまね文化振興財団(島根県)/2020年6月～2021年3月

財団からのお知らせ

●令和3（2021）年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」実施団体募集

この事業は、公共ホールを拠点として、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家のコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

コンテンポラリーダンスがもつ自由な表現と、言葉を使わない身体によるコミュニケーションには無限の可能性があり、地域住民に向けたさまざまなアプローチが可能で、地域やホールの特性を生かしてその地域ならではの企画をつくり上げることができます。

A、B、Cの3つのプログラムがあり、年度ごとに段階的に選択していくことで、今後のダンス事業を実施するためのビジョンに基づいた継続的な事業の実施が可能です。

詳細は、実施要綱をご参照ください。皆様のご応募をお待ちしています。

募集締切：2020年7月10日（金）必着

◎Aプログラム（地域交流プログラム）

原則として、4日間でアウトリーチ（3回以上）、公募ワークショップ（1回以上）、合わせて4～6回実施するプログラムです。

◎Bプログラム

原則として、3日間＋6日間など全9日間の日程を2回に分け、市民参加作品を創作し有料公演を1回実施するプログラムです。また、併せて公募ワークショップを1回実施します。

◎Cプログラム

原則として、4日間で登録アーティストのレパートリー作品（リ・クリエーションを含む）の有料公演を1回実施するプログラムです。また、併せて公募ワークショップを1回実施します。

令和3（2021）年度「公共ホール現代ダンス活性化事業（ダン活）」プログラム概要

	Aプログラム（地域交流プログラム）	Bプログラム（市民参加作品創作プログラム）	Cプログラム（公演プログラム）
対象団体	地方公共団体、指定管理者、公益財団法人　等		
事業日程	4日間	全9日間（3日間＋6日間など）	4日間
事業内容	①アウトリーチ(3回以上) ②公募ワークショップ（1回以上） ①②を合わせて4～6回	①市民参加作品の有料公演(1回) ②公募ワークショップ(1回) ※クリエーションワークショップを重ねて作品を創作します。	①アーティストのレパートリー作品（リ・クリエーション含む）の有料公演(1回) ②公募ワークショップ(1回)
経費負担支援内容	•アーティストの派遣経費（出演料等、交通費、宿泊費、日当、損害保険料） •コーディネーターの派遣 •全体研修会（事業実施に必要なノウハウ等の研修）の開催		
		•公演負担金として、実施団体が支出した事業実施に係る対象経費の2/3以内（上限50万円）を負担	

●令和3年度「公共ホール現代ダンス活性化事業」事業実施要綱および事業申込書等は、当財団ホームページに掲載します。
https://www.jafra.or.jp/project/dance/01.html

◎申し込み・問い合わせ
芸術環境部　栗林・青井・畑
Tel. 03-5573-4055・4077・4075
E-mail：dankatsu@jafra.or.jp

財団からのお知らせ

●地域創造レター6月号休刊のお知らせ

報告記事の掲載を予定しておりました事業の中止や職員の在宅勤務対応に伴い、地域創造レター6月号(5月25日発行予定)は休刊させていただきます。

地域創造の設立当初より休まず発行してまいりました広報誌を初めて休刊することとなり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の大きさを感じるとともに、一日も早く終息に向かい地域の文化・芸術の取り組みをご紹介できることを切に願います。

●在宅勤務の実施について

地域創造は、事務所の所在する東京都において新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、4月8日(水)から当面の間、一部職員を除き、原則として在宅勤務(テレワーク)を実施しております。

業務に関するお問い合わせ等につきましては、メールにてご連絡ください。メールは在宅勤務中でも確認しておりますので、緊急の場合でもまずはメールにてご連絡ください。必要がある場合は、担当者から折り返しお電話をさせていただきます。

関係の皆様には、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

◎実施内容
全役職員が原則として在宅勤務を実施

◎実施期間
令和2(2020)年5月6日(水)まで(予定)

◎在宅業務実施期間のお問合せ先

●総務	info@jafra.or.jp
●美術	bikatsu@jafra.or.jp
●助成	josei@jafra.or.jp
●伝統芸能	dento@jafra.or.jp
●人材育成・調査研究	kensyu@jafra.or.jp
●おんかつ・邦楽	onkatsu@jafra.or.jp
●ダンス	dankatsu@jafra.or.jp
●演劇	ennet@jafra.or.jp

なお、今後の政府等による各種対策の実施や新型コロナウイルス感染症拡大に関する状況等を踏まえ、対応について見直しを行う場合があります。

●「公共ホール求人情報」「公共ホール研修会/シンポジウム開催情報」掲載お申し込み方法

登録フォームにアクセスいただき、必要事項を直接ご入力ください。送信を行うには、フォーム最下部の投稿用認証キー欄へID、パスワードの入力が必要です。

※スパム対策のため、登録フォームURLおよびログインID、パスワードはホームページ上に記載していません。地域創造レターをご確認いただくか、地域創造までお問い合わせください。

1. 求人情報登録フォーム、研修会/シンポジウム開催情報登録フォームへアクセス。
2. 登録フォームに沿って、必要事項を入力してください。
3. フォームの最下部にある投稿用認証キー欄にID、パスワードを入力。
4. 登録を完了すると自動で登録完了をお知らせするメールがお手元に届きます。
5. 地域創造が内容を確認後、ホームページに情報を公開します。公開完了はメールでお知らせします。登録から情報公開までは2〜3日程度お時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※情報を修正する場合には、入力フォームの末尾にあるNo.入力欄に公開完了のメールに記載した登録No.をご入力の上、再度修正情報をご登録ください。セキュリティの都合上、すべての情報を再入力する必要があります。ご了承ください。

●地域創造レターに関する問い合わせ
芸術環境部　﨑山・児島
Tel. 03-5573-4066・4183
E-mail:letter@jafra.or.jp

地域通信

●データの見方
情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック
[北海道・東北]北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
[関東]茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
[北陸・中部]新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
[近畿]三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
[中国・四国]鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
[九州・沖縄]福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先
ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060　Tel. 03-5573-4066
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当　﨑山・児島

●2020年7月号情報締切
5月29日(金)

●2020年7月号掲載対象情報
2020年7月～9月に開催もしくは募集されるもの

●地域通信欄掲載情報について
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となる場合や、開催内容・日程等が一部変更となる場合がございます。最新の情報は主催者の発表情報をご確認ください。

北海道・東北

●青森県十和田市
十和田市現代美術館
〒034-0082　十和田市西二番町10-9
Tel. 0176-20-1127　大谷紗絵
http://towadaartcenter.com/

Arts Towada 十周年記念「インター＋プレイ」展

十和田市のシンボルロード・官庁街通りをまるごと“美術館”に見立てるプロジェクト「アーツ・トワダ」の完成10周年を記念する展覧会。約1年間にわたる会期を3期に分け、私たちの身体、建築、街と社会の内側と外側に橋を架け、その間を繊細・自由に往還し、私たちの生きる空間に新しい可能性を開く作家・作品で展覧会を構成する。
[日程]4月18日～2021年5月30日
[会場]十和田市現代美術館

目[mé]出品予定作品プラン

●青森県青森市
青森県立美術館
〒038-0021　青森市安田字近野185
Tel. 017-783-3000　西岡・奥脇
http://www.aomori-museum.jp/ja/

コレクション展2020-1:「春」を刻む

2020年のコレクション展第1弾。成長や、新たな幕開けといったイメージの“春”に寄せて、棟方志功の板画家としての芽生えを示す作品、成田亨のウルトラ怪獣のデザイン原画、ダリの版画作品の連作、濱田庄司の民藝作品などを紹介する。また、五所川原市教育委員会から寄贈された青森の子どもたちが作製した版画作品の数々も展示される。
[日程]3月20日～7月12日
[会場]青森県立美術館

関東

●東京都板橋区
板橋区立美術館
〒175-0092　板橋区赤塚5-34-27
Tel. 03-3979-3251　弘中智子
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/

深井隆—物語の庭—

彫刻家・深井隆自身のセレクションによる個展。1990年代初めから未発表の新作までの彫刻と平面、約30点が展示される。深井は素材として主に樟を使い、翼のある椅子や馬など一貫したモチーフによる作品を《逃れゆく思念》《月の庭》などと詩的なタイトルで発表している。「彫刻の展示空間には“物語”が存在する」と深井が語るように、美術館の展示空間全体を舞台に、幾つかの物語が展開される。
[日程]3月14日～5月10日
[会場]板橋区立美術館

●東京都府中市
府中市美術館
〒183-0001　府中市浅間町1-3(都立府中の森公園内)
Tel. 03-5777-8600　金子信久
http://fam-exhibition.com/futsu/

ふつうの系譜「奇想」があるなら「ふつう」もあります。—京の絵画と敦賀コレクション

毎春、江戸時代の絵画をユニークな切り口で紹介してきた展覧会。今回は、伊藤若冲らの“奇想”とも取れるような絵画に対して、“ふつう”の絵画とは何かに着目。いわゆる奇想とは異なる、“ふつう”の美しさをたたえる江戸時代絵画を中心に収集してきた敦賀市立博物館の全面的な協力を得て、選りすぐりの所蔵作品約100点を展示する。
[日程]3月14日～5月10日
[会場]府中市美術館

北陸・中部

●富山県富山市
富山県美術館
〒930-0806 富山市木場町3-20
Tel. 076-431-2711　渡辺希利子
https://tad-toyama.jp/

森村泰昌のあそぶ美術史—ほんきであそぶとせかいはかわる—

美術家・森村泰昌をゲストキュレーターに招いて収蔵品を活用した企画展。森村の「普通のコレクション展示は絶対やらない。見え方の発想を変える。これらの試みを“あそび”の三文字に込める。」のコンセプトのもと、絵画の表面と裏面を同時に見せるなど、通常では絶対行わないユニークな展示を実施。森村作品の展示も含め、斬新な美術鑑賞体験の場となっている。
[日程]3月7日～5月10日
[会場]富山県美術館

●長野県松本市
松本市美術館
〒390-0811 松本市中央4-2-22
Tel. 0263-39-7400　武藤美紀
http://matsumoto-artmuse.jp/

柚木沙弥郎のいま

松本市に縁の深い作家・柚木沙弥郎の個展。自由でユーモアあふれる形象や豊かな色彩で多くのひとびとを魅了してきた柚木は、97歳になった今も染色の領域にとどまらない多彩な活動を

＊地域創造レターは再生紙を使用しています

続けている。今回は近年の型染作品を中心に、水彩画、版画など約80点を展示。また戦前、旧制松本高等学校で過ごし、その後も幾度となくこの地を訪れている柚木が、市内で手がけてきた仕事も併せて紹介する。
[日程]4月18日～6月7日
[会場]松本市美術館

●長野県原村
八ヶ岳美術館
〒391-0115 諏訪郡原村17217-1611
Tel. 0266-74-2701 塚崎美歩
http://www.lcv.ne.jp/~yatsubi1/

開館40周年記念展「新収蔵 清水多嘉示の石膏原型の全貌」
原村出身の彫刻家・清水多嘉示による作品寄贈を契機に開館し、40周年の節目に記念展を開催。現存するほぼすべてが収蔵された清水作品の石膏原型コレクションを通して、敗戦後の日本彫刻の復活と昭和に隆盛した野外彫刻の展開を紹介するとともに、鋳造後に多くが壊されてしまう石膏原型を保存し、展示に活用する意義と展望を示す。
[日程]4月1日～7月5日
[会場]八ヶ岳美術館(原村歴史民俗資料館)

●愛知県豊田市
豊田市美術館
〒471-0034 豊田市小坂本町8-5-1
Tel. 0565-34-6610 都筑正敏
https://www.museum.toyota.aichi.jp/

久門剛史 らせんの練習
新進作家・久門剛史による国内初の大規模個展。久門は「あいちトリエンナーレ2016」出展や、ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展(2019年)でのアピチャッポン・ウィーラセタクンとの共作展示のほか、「VOCA展2016」VOCA賞受賞など、国内外で高い評価を得ている。本展では、まさに螺旋構造のような展示室配置の美術館で、延べ約1,000㎡の空間を使った個性的な新作インスタレーションを展開する。
[日程]3月20日～6月21日
[会場]豊田市美術館

●愛知県清須市
清須市はるひ美術館
〒452-0961 清須市春日夢の森1
Tel. 052-401-3881 奥村綾乃
http://www.museum-kiyosu.jp/

清須ゆかりの作家 富永敏博展 自分の世界、あなたの世界
地元出身・在住の現代美術家、富永敏博を取り上げた展覧会。私たちが生きる世界を俯瞰してユーモラスにとらえ直す富永の作品は、一見するとファンタジーのようでありながら一貫して身近な現実を描いている。その視点は自身が企画するワークショップやプロジェクトにも表れており、今回の展覧会では絵画、立体、インスタレーションなど多岐にわたる創作活動を幅広く紹介する。
[日程]5月7日～6月14日
[会場]清須市はるひ美術館

近畿

●奈良県奈良市
奈良県立美術館
〒630-8213 奈良市登大路町10-6
Tel. 0742-23-3968 安田篤生
http://www.pref.nara.jp/11842.htm

熱い絵画 大橋コレクションに見る戦後日本美術の力
日本の現代美術を支援した関西の企業家・化学者、大橋嘉一氏の収集による大橋コレクションは、大橋氏の没後、奈良県立美術館、国立国際美術館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館に分割して保管されている。本展は、1950～60年代の絵画や版画、彫刻約2,000点のうち、絵画90点で構成され、3館に分散した大橋コレクションが一堂に会する初めての機会となる。
[日程]5月8日～7月5日
[会場]奈良県立美術館

中国・四国

●鳥取県伯耆町
植田正治写真美術館
〒689-4107 西伯郡伯耆町須村353-3
Tel. 0859-39-8000 青井洋一
https://www.houki-town.jp/ueda/

空想の羽 植田正治の静物
植田正治は、写真を始めた戦前から、さまざまな静物写真も撮影している。展示の中でも特に晩年の1980年代後半から90年代に撮影された《幻視遊間》(1987-92)などの作品群は、植田の集大成である。被写体を自由な発想でとらえ、多彩にアレンジされた作品は、非日常的で非現実的なオブジェとして不思議な魅力や輝きを放つ。晩年のカラー作品を中心に、多彩なモノクローム作品も展示。
[日程]3月1日～5月24日
[会場]植田正治写真美術館

●島根県浜田市
浜田市教育文化振興事業団
〒697-0016 浜田市野原町859-1
Tel. 0855-23-8451 門千穂
http://www.hamada-kodomo-art.com/

つみき展
積み重ねたり、並べたり、自由自在な遊び方が可能な積み木を集めた企画展。造形デザイナーの高橋綾が考案したユニークなものや、地元産の広葉樹を使用して制作したものなど70点が紹介され、実際に手に取って楽しむことができる。木だけでなく、コルクや磁石入りのものなど多様な“つみき”に触れることで、創造力や表現力が刺激され、自己表現ツールとしての可能性を実感することができる。
[日程]3月14日～5月31日
[会場]浜田市世界こども美術館

●広島県廿日市市
廿日市市芸術文化振興事業団
〒738-8509 廿日市市下平良1-11-1
Tel. 0829-20-0111 田中仁
https://www.hatsukaichi-csa.net/sakurapia/

はつかいち室内合奏団 “SA·KU·RA”創設記念演奏会
「市民に親しまれる、地域主体の特徴ある合奏団」を目指して、同館を拠点に今年4月より活動を始めたプロ・アンサンブルによる記念すべき1回目の演奏会。指揮と独奏ヴァイオリンに、同じく4月に正式発足した「はつかいちジュニア弦楽合奏団“NO·ZO·MI”」のミュージック・アドヴァイザーを務めるヴァイオリニストの澤和樹を迎え、クラシックの名曲から現代曲まで幅広いプログラムを披露するほか、ジュニア弦楽合奏団も特別出演の予定。
[日程]5月23日
[会場]はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ 小ホール

オンラインを活用した取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響により、各地で広がるオンラインを活用した取り組みをご紹介します。
※実施施設の北から順に掲載

●札幌市
Kitaraあ・ら・かると アダムさんのオルガンコンサート
ゴールデンウィークの音楽祭である「Kitaraあ・ら・かると」の一環として開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から内容を変更し、アダム・タバイディ(Kitara

▼—今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

専属オルガニスト）による無観客コンサートをインターネット上で配信する。オルガンや作品についてのお話付きで、日本の歌に基づく即興演奏等、子どもから楽しめる作品を演奏する。
[公開期間] 5月5日～
[URL]https://www.kitara-sapporo.or.jp/news/whatsnew.php?num=417
[問い合わせ]札幌コンサートホール Kitara　Tel. 011-520-2000

●東京都目黒区

「日本初期写真史　関東編」「写真とファッション」

東京都写真美術館は3月3日に開始予定だった2つの展覧会の展示風景動画をホームページで配信中。幕末明治期の関東地方における写真文化を紐解く「日本初期写真史　関東編」では、学芸員による展示解説動画を7本公開。1990年代以降の写真とファッションの関係性を探る「写真とファッション」では、展示風景を紹介している。
[公開期間] 3月11日～
[URL]https://topmuseum.jp/
[問い合わせ]東京都写真美術館
Tel. 03-3280-0099

●横浜市

オンラインで楽しむ横浜美術館

臨時休館中でもオンラインでアートにふれることができるさまざまなコンテンツをウェブサイトで公開中。企画展「澄川喜一 そりとむくり」、New Artist Picks「柵瀬茉莉子展｜いのちを縫う」、横浜美術館コレクション展やコレクション作品、過去の展覧会などに関するアーティストへのインタビューや展示風景など、写真やテキスト、動画や音声などで楽しむことができる。
[URL]https://yokohama.art.museum/news/news/data-20200331-1095.html
[問い合わせ]横浜美術館
Tel. 045-221-0300

●川崎市

観客のいない音楽会「東京交響楽団 Live from Muza!」

ミューザ川崎シンフォニーホールでは中止となった主催公演の無観客コンサートを、(株)ドワンゴの協力を得てニコニコ生放送で無料生配信を実施（3月8日、14日）。通常の鑑賞に近い観客席の固定アングルによる映像も用意されたほか、同館の公式ブログでは聴きどころを細かく紹介した曲目解説を公開した。長期化も予想される状況に鑑み、今後もこうした取り組みによる鑑賞機会の提供を検討している。
[URL]https://www.kawasaki-sym-hall.jp/blog/
[問い合わせ]ミューザ川崎シンフォニーホール　Tel. 044-520-0100

●新潟市

2019年5月開催「5台ピアノの世界」動画配信

2019年5月12日に開催されたりゅーとぴあ室内楽シリーズNo.34「5台ピアノの世界」から、シャブリエ作曲、狂詩曲『スペイン』の映像をYouTubeにて公開。満席の聴衆の熱気の中で演奏された、白石光隆、田村緑、中川賢一、デュエットゥ かなえ＆ゆかりの5名10手による、圧倒的で濃密な世界を楽しむことができる。
[公開期間] 3月11日～
[URL]https://www.ryutopia.or.jp/information/news/15457/
[問い合わせ]りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
Tel. 025-224-7000

●長野県茅野市

茅野市民館「よりあい劇場」2020→2021 アイデア発表

建設当初から市民参画によりつくられた茅野市民館では、毎年事業提案の公募を行ってきた。「よりあい劇場」は、公募により集まったアイデアや表現活動を発表・共有する場として実施され、5回目の今回は33の個人・団体から64件の提案が寄せられた。今回は直接集まる形での発表は取りやめ、インターネット上で寄せられた内容を公開・共有する発表に切り替えて行う。
[URL]http://www.chinoshiminkan.jp/info/ 2021yoriai.html
[問い合わせ]茅野市民館
Tel. 0266-82-8222

●岐阜県岐阜市

森下真樹＋岐阜県美術館「ベートーヴェン 交響曲第5番『運命』を贈る」

5回目の「アートまるケット」では、岐阜県内で行われているアーティスト・イン・レジデンスに焦点を当てたレビュー展を開催。関連企画として予定していた森下真樹の舞台作品の上演中止を受け、岐阜での滞在制作により映像作品として再制作したものを配信する。可児市文化創造センターで市民ダンサーと共に制作した『運命』が、ソロダンス作品となって凱旋し、同館のあらゆる場所で繰り広げられる。
[公開期間] 3月20日～6月14日
[URL]https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/events/maruke_re_unmei/
[問い合わせ]岐阜県美術館
Tel. 058-271-1313

「ベートーヴェン　交響曲第5番『運命』を贈る」撮影風景

●静岡市

くものうえ⇅せかい演劇祭2020

開催中止となった「ふじのくに⇄せかい演劇祭2020」に代わり実施される企画。公式プログラム「くものうえでも出会っちゃえ」では、作品を上演予定だった演出家と宮城聰（SPAC芸術総監督）がオンライン上で語り合う。さらにSPAC俳優が自ら考案・製作したプログラムも多数展開される。
[公開期間] 4月3日～
[URL]https://spac.or.jp/festival_on_the_cloud2020
[問い合わせ]SPAC-静岡県舞台芸術センター　Tel. 054-202-3399

●京都市

おうちでアート

主に子どもたちに向けて、京都芸術センターと京都市が、関係アーティストと協働で実施。アーティスト本人が自身の仕事等について動画で解説する「アーティストに聞いてみたムービー」や、芸術に関するTwitter上の「よろず相談室」などがある。当初は春休み中の実施を予定していたが、今後も当面継続する。
[公開期間] 3月7日～
[URL]https://www.kac.or.jp/28151/
[問い合わせ]京都芸術センター
Tel. 075-213-1000

●広島市

エア美術館

広島県立美術館では臨時休館期間中、公式Facebook、Twitterにて所蔵作品や開幕予定だった特別展の作品などを公開。ほとんど毎日更新され、1ツイートにつき1作品を、キャプションや学芸員の解説と共に鑑賞することができる。また、準備前の展示室の様子や庭園の風景なども時折上げられ、館自体の魅力も伝わる内容となっている。
[公開期間] 3月12日～
[URL]https://twitter.com/H_pref
[問い合わせ]広島県立美術館
Tel. 082-221-6246

●2019年度「地域の公立文化施設実態調査」

都道府県・政令市では他の行政分野との連携が進む

2019年度
「地域の公立文化施設実態調査」② 速報

設置主体

＊2019年度「地域の公立文化施設実態調査」報告書は、地域創造ホームページに掲載予定です。

●2019年度「地域の公立文化施設実態調査」調査概要
◎調査対象
公立文化施設のうち、「専用ホール」、「その他ホール」、「美術館」、「練習場・創作工房（アーティスト・イン・レジデンス施設を含む）」およびそれらを含む「複合施設」と、施設の設置主体にあたる地方公共団体。
◎調査時期
2019年9月～11月
◎調査方法
全国の地方公共団体の文化振興ご担当者に、当該団体が設置主体となっている調査対象施設を記入する「施設設置一覧記入票」と「地方公共団体向け調査票」、「施設調査票」を配布。当該団体において「施設設置一覧記入票」と「地方公共団体向け調査票」の記入および「施設調査票」の各施設への配布と取りまとめをしていただいた。
◎調査回収数
•地方公共団体票の有効回収数
1,645（都道府県47（100%）、政令市20（100%）、市区町村1,576（91.6%）、広域行政（＊）2）
•地方公共団体からの回答
3,442館　延べ3,671施設
（「専用ホール」1,483、「その他ホール」1,363、「美術館」648、「練習場・創作工房」177）
•地方公共団体から回答があった3,442館のうち、施設からの施設調査票の有効回収数
3,343館　延べ3,568施設
（「専用ホール」1,455、「その他ホール」1,310、「美術館」628、「練習場・創作工房」175）

●調査研究に関する問い合わせ
芸術環境部　青井
Tel. 03-5573-4077

＊「広域行政」とは一部事務組合や広域連合などの特別地方公共団体を指す。

「地域の公立文化施設実態調査」では、各地域の公立文化施設に加えて、施設の設置主体である地方公共団体についても調査を行っている。2019年度調査に回答していただいた地方公共団体数は、1,645である（都道府県47、政令指定都市20、市区町村1,576、広域行政(*)2）。回収率は、都道府県と政令指定都市が100.0%、市区町村が91.6%となった（2019年9月1日時点の市区町村数は、政令指定都市を除き、1,721）。

今回は、この地方公共団体に対する調査のうち、前回（2014年度調査）から大きく変化した3つのポイント、「文化芸術基本法」（2017年6月施行、2018年3月第1期文化芸術推進基本計画閣議決定）、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」（2018年6月施行、2019年3月基本計画決定）、「公共施設等総合管理計画」（2014年総務大臣要請）に関わる結果を紹介する。

●他の行政分野との連携

2017年に施行された文化芸術基本法では、それまでの文化芸術基本振興法を大幅に変更し、対象とする施策を「文化芸術の振興に関する」ものから、「文化芸術に関する」ものへと範囲を広げるとともに、「観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野」（第二条10項）との有機的な連携を図るよう配慮することとしている。これを受け、今回の調査では、文化芸術施策の企画・実施にあたって、他の行政分野との連携を図っているかについて調査した。

結果を見ると、連携を「行っている」という回答は、全体では16.2%にとどまる。ただし、都道府県（51.1%）、政令市（65.0%）に限って見ると、過半が「行っている」と回答しており、市区町村との差が大きく表れる［図1］。また、連携を行っている266団体のうち、「連携強化のために構築した組織がある」と回答している割合は23.3%となっている。また、連携を強化した／強化したい行政分野としては、「教育」（46.1%）、「観光」（45.8%）が多く、次いで「まちづくり」（36.0%）、「福祉」（28.0%）などとなっている（対象は、連携を行っている団体と計画や意向がある団体583。［表1］）。

●障害者の文化芸術活動

障害者による文化芸術活動の推進に関する法律では、各地方公共団体に、障害者の文化芸術活動を推進する基本計画の策定を努力義務として定めている（第八条）。法の施行が2018年、各地方公共団体が定める基本計画が勘案すべき国の基本計画の決定が2019年3月と今回調査までの対応期間は長くない状況であったが、今回調査では、すでに全体の2.5%の団体が「策定済み」、「作業中」を含めると4.1%が対応していると回答。特に都道府県は14.9%（作業中を含めると27.7%）、政令市は20.0%（作業中を含めると35.0%）となっており、かなり迅速に対応が進んでいる状況がうかがえる［図2］。

●公立文化施設の個別施設計画

人口減少の進行や公共施設の老朽化の進展等を踏まえ、総務省において、2014年に公共施設等総合管理計画を2016年度までに策定するよう各地方公共団体に要請が行われた。また、政府全体としても2020年度までに、総合管理計画に基づいて各個別施設の対策内容・実施時期等を定める個別施設計画をとりまとめるよう目標年次を示している。今回調査でその進行状況を見ると、2019年度時点で公立文化施設についての個別施設計画を策定しているのは全体の16.5%にとどまり、都道府県、政令市が35%を超えているのに対し、市区町村では15.7%と策定が進んでいない［図3］。

公立文化施設についての個別施設計画の指針を策定している272団体にその内容を聞いたところ、17.3%が集約化、15.1%が他領域施設との複合化、14.7%が施設の廃止を個別施設計画に組み込んでいた［表2］。

図1　文化に関わる他の行政分野との連携の強化（%）（団体種別）

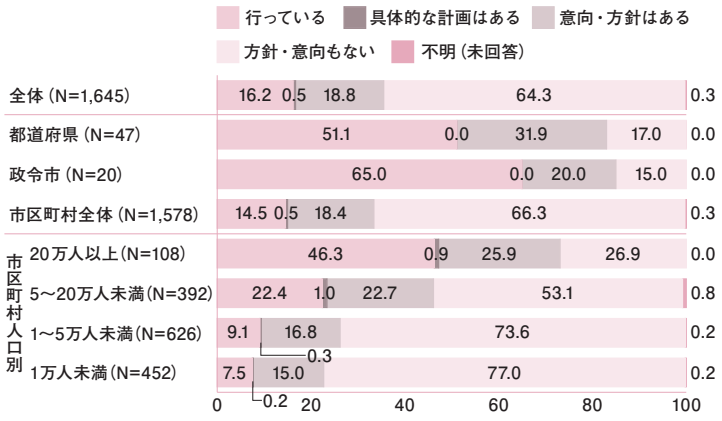

図2　障害者の文化芸術活動の推進についての基本計画策定状況（%）（団体種別）

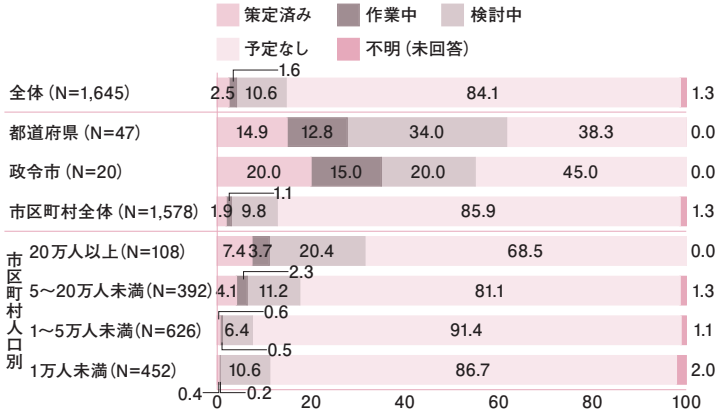

図3　文化施設における公共施設等総合管理計画の個別施設計画の策定状況（%）（団体種別）

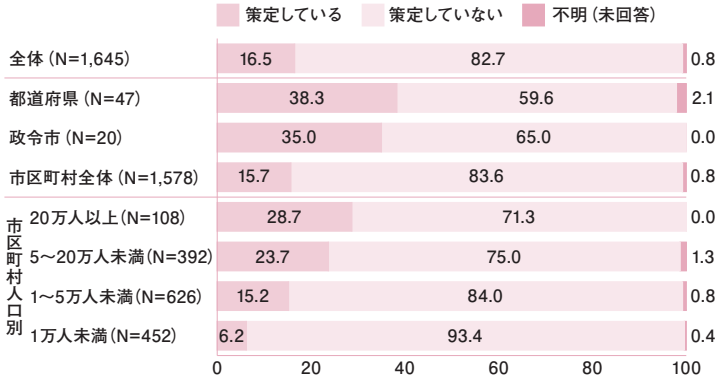

表1　連携を強化した／強化したい行政分野（%）（団体種別）※複数回答可能

		調査数（有効回答数）	観光	まちづくり	国際交流、多文化共生	福祉	教育	産業	その他
全体		583	45.8	36.0	26.2	28.0	46.1	18.5	6.0
団体種別	都道府県	39	71.8	46.2	43.6	64.1	53.8	43.6	10.3
	政令市	17	94.1	70.6	76.5	76.5	82.4	52.9	0.0
	市区町村	527	42.3	34.2	23.3	23.7	44.4	15.6	5.9
	20万人以上	79	63.3	41.8	45.6	39.2	55.7	31.6	8.9
	5～20万人未満	181	47.5	43.6	26.0	30.9	49.2	18.8	7.2
	1～5万人未満	164	35.4	26.8	18.3	13.4	35.4	7.3	3.7
	1万人未満	103	28.2	23.3	9.7	15.5	41.7	10.7	4.9

表2　個別施設計画の指針（%）（団体種別）※複数回答可能

		調査数（有効回答数）	同種の文化施設の集約化（ホールとホール、美術館と美術館等）	異なる分野の文化施設や文化施設以外との複合化	文化施設から他用途施設への転用	施設の廃止	施設の売却	左記の中に該当するものはない
全体		272	17.3	15.1	8.1	14.7	1.1	68.8
団体種別	都道府県	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	政令市	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7
	市区町村	247	19.0	16.2	8.9	16.2	1.2	66.0
	20万人以上	31	16.1	16.1	9.7	12.9	3.2	77.4
	5～20万人未満	93	22.6	19.4	9.7	17.2	2.2	59.1
	1～5万人未満	95	21.1	17.9	9.5	20.0	0.0	63.2
	1万人未満	28	3.6	0.0	3.6	3.6	0.0	85.7

＊地域創造レターは再生紙を使用しています

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

秋田県秋田市

秋田公立美術大学

「NPO法人アーツセンターあきた」

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全国の公立文化施設の事業にも多大な影響が出ています。長期間かけて準備した市民参加劇の延期や中止、新しい文化施設のオープン見合わせなど、先の見えない状況で、日々、対応に尽力されている地方公共団体や公立文化施設の職員の皆様に心より敬意を表します。このような状況の中で、今回のレポートでは、催しものではなく、大学と連携した文化による地域づくりの仕組みとして注目される秋田公立美術大学の「NPO法人アーツセンターあきた」を取り上げます。また、今後は公立文化施設の新型コロナウイルス感染症対策の取り組みなども紹介する予定です。

「秋田雪橇編 タウトと勝平」の展示

＊1 「アウト・オブ・民藝｜秋田雪橇編 タウトと勝平」(2020年1月18日～5月10日／秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINT)
名も無き職人の手から生み出された「民藝」周辺の動きについてリサーチする「アウト・オブ・民藝」の秋田編。秋田で独自の色刷版画を制作していた勝平得之(1904～71)が残したドイツの建築家ブルーノ・タウトにまつわる秋田滞在時代の文献資料、戦前の秋田の民具を展示。

＊2 あきびネット
160以上の地元団体・企業、個人が集い、秋田公立美術大学を支援するために設立された民間団体。産学連携の推進やインターンシップの実施、奨学金による創作・研究支援などを実施。

1999年に東京藝術大学が取手市、市民の三者で「取手アートプロジェクト(TAP)」をスタートして20年になる。2006年には教育基本法が改正され、“地域貢献”が大学の使命に加わったことで、大学は新たな地域づくりの担い手として期待されてきた。一方、大学では地域連携センターや自治体との包括協定などで体制づくりを進めてきたが、仕組みづくりで苦慮していることも多い。その中で注目されているのが、地域連携の受け皿としてNPO法人を設立し、専門職員を雇用して事業を拡充している秋田公立美術大学(以下、秋美)の取り組みだ。

●

秋美は、秋田市が設置した秋田公立美術工芸短期大学を2013年に4年制大学へ移行した東北唯一の公立美術系大学だ。設置にあたり、市が掲げる芸術・文化による地域づくりを担う「社会貢献機関」を目指し、地域のフィールドワークを基盤とするアーツ＆ルーツ専攻を設け、また空き家等の利活用をデザインする人材の育成などを標榜。当初から「社会貢献センター」を置き、キャンパス内の巨大な旧国立農業倉庫の一棟を改装したアトリエももさだ、JR秋田駅前ビル内のサテライトセンター、CNA秋田ケーブルテレビとの共同によるギャラリーBIYONG POINTを運営。NPO法人アーツセンターあきたは、これらの運営と予算を引き継ぎ、18年2月に同大学教授で、アーティストの藤浩志さんが理事長となって始動した(現在は16人体制で活動)。

事務長の三富章恵さんは、「センターは大学職員が運営し、異動もあった。NPOになったことで、地域や企業からの要望をコーディネートできる人材を確保し、大学のリソースを使いながら新しい芸術領域の創造と社会貢献ができる体制になった」と言う。

現在NPOでは、拠点の運営、多彩な教授陣や学生という大学のリソースと地域を繋ぐ地域連携プロジェクト、大学広報の3つの柱を大学および外部からの委託事業として展開している。例えば、ヒアリングを行った4月9日には、拠点のBIYONG POINTで「アウト・オブ・民藝｜秋田雪橇(ゆきぞり)編 タウトと勝平」(＊1)が開催されていた。例年開催している企画公募で採択されたもので、軸原ヨウスケ(岡山)や中村裕太(京都)らが秋田を調査してつくり上げた。プログラムコーディネーターの岩根裕子さんは、「大学の助手や教授陣・学生の研究活動として実験的な展示を行い、発信する場所として運営している。公募展で外部の人が入ることで、地域資源を新しい視点から発見し、学生が新しい芸術動向にふれる機会にもなっている」と語る。

地域連携では、大学が立地する新屋地域で空き家を改修したレジデンススペースや展示スペースを展開しているほか、県内自治体からの相談にも対応している。「例えば能代市からの依頼で、景観デザイン専攻の教員と地元の高校生が一緒に中心市街地の空き店舗の活用を考えて具体化するプロジェクトを実施した。自治体、市民や高校生、大学教員といった立場や価値観の違う人を繋ぎ、コーディネートするのが私たちの仕事」と三富さん。

また、1学年105人という小規模大学で広報の部署がないため、それもNPOに委託されている。地域連携や展覧会などのプロジェクトも準備段階から丁寧に記録され、ネットで発信されている。藤さんは、「ドキュメントを残すことは、行政や市民に対しての説得力にもなる。アーティストにとっては大学のリソースが活用できるのは重要で、色々なプロジェクトを通じてアーティストが秋田を自分のイメージが実現できる場所として認識してくれれば、彼らが秋田を語ってくれるようになる」と言う。京都から秋美の大学院に進学し、NPOスタッフとなった藤本悠里子さんは、「院生の時、あきびネット(＊2)の助成で展覧会を開催した。秋田に来て、出会う人や自分が実現できる範囲が広がった。今は駅前の商業施設の空きスペース活用を担当している」と言い、新たな地域の担い手になっている。

NPOは来春開館する秋田市文化創造交流館(旧秋田県立美術館)の調査やプレ事業を受託するなど、地域における存在感を増している。大学と地域を繋ぐ新たな仕組みに期待が膨らむ。　(アートジャーナリスト・山下里加)